



# キク編



## 病害虫注意報 2023年10月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

### アザミウマ類・ハダニ類の多発に注意してください！

気温が下がるとアザミウマ類・ハダニ類にとって最適な温度となり、発生が多くなります。  
薬剤散布は発生前から予防的に行い、多発しないように注意しましょう。



アザミウマ類

#### 被害

- ▶新芽が加害されると芯止まりになる。
- ▶花弁への被害はかすり状の食痕。
- ▶えそ病、茎えそ病のウイルスを媒介する。

#### 対策

- ▶早期の発見と防除
- ▶圃場周辺の除草



ハダニ類

#### 被害

- ▶葉表にカスリ状の小斑点
- ▶乾燥条件で多発しやすい

#### 対策

- 圃場で乾燥しやすい所を把握して、早期発見・早期防除に努める。
- 葉裏への寄生が多いため、葉裏に十分かかるように薬剤散布する。

### 今月のおすすめローテーション

⚠ 地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては被害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	inochioキクツチャ粒剤	6~9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	ジマンダイセンフロアブル	500~800倍	-	8回
	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	11	白さび病	inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	6	アザミウマ類・ハダニ類	アグリメック※	500倍	発生初期	5回
発蕾時	34	アザミウマ類	ファインセーブフロアブル	2,000倍	発生初期	2回
	20D	ハダニ	マイトコーネフロアブル	1,000倍	開花前	1回
破蕾時	7	白さび病	カナメフロアブル	4,000~8,000倍	発病初期	3回
	4C	アザミウマ類・アブラムシ類	トランスフォームフロアブル	1,000~2,000倍 アブラムシ類2,000倍	発生初期	3回

対象害虫によって使用の希釈倍数が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

※花き類・観葉植物登録

### サフオイル乳剤

- 気門封鎖剤なので、他剤の感受性低下害虫に有効
- ハダニ類の全ステージに有効 (殺卵効果あり)

#### 適用内容 (抜粋)

300~500倍/ 発生初期 / ハダニ類

- ※展着剤の加用を推奨
- ※高温時は葉害の恐れがあり、使用を避ける



光合成能力UP!

### ファイトマジック

#### 1,000倍 葉面散布

キレートマグネシウム+各種微量元素

- ★ 葉にテリ・ツヤ・厚みUP!
- ★ 日照不良時の代謝の向上!



肥料登録  
生第87201号